

委員会レポート

先進地から学ぶ…

行政視察

の結果を報告します

行政視察・・・議員が先進的な取り組みをしている自治体や団体に出向いて、その施策やその地域の行政・文化等の実情を視察することです。

【議会運営委員会】

・守谷市議会・那須塩原市議会
守谷市議会では、平成20年から、議会基本条例を制定するため、市民目線の議会づくりを心掛け、条例の運用の仕方まで議論を重ね、平成26年に制定されました。また、これまでも存在していた「会派」を、この条例によって明確に定義しました。今後、議会改革の一環として、タブレット端末の導入を検討しています。

那須塩原市議会では、条例制定に向け、他の先進地を参考にし、市民参加を基軸と考え、調査・研究を行っています。その他、議場コンサートや議会中継、議会報告会などを実施しています。

本市議会でも多くの市民に親しまれるような議会運営を目指していきたいと思えます。



期間 6月25日～26日

視察内容

- ①「議会基本条例」
- ②「会派制・議会改革」

【総務委員会】

・徳島県 株式会社いりどり
葉っぱビジネスで有名な徳島県上勝町。かつてはミカンで栄えた町だが、寒波により壊滅的な被害を受けました。試行錯誤の結果、高齢者でも取り組める葉っぱビジネスを展開し、年間販売額は2億円後半。携わる農家は200軒、平均年齢は70歳。自分で販売したものの取引や市況をネットで確認することが刺激になり、生きがいに繋がっていました。

・徳島県阿波市役所・高知県四万十町役場
どちらの市町も市町村合併をしたが、全ての庁舎が老朽化しており、地震等の災害時に防災拠点としての機能が果たせないばかりでなく、分散した行政機能を集約することにより、住民の利便性の向上、効率的な行政運営による経費削減等を実現するために新庁舎建設を進めていました。



・えひめ結婚支援センター
愛媛県では、少子化の主たる要因である未婚化・晩婚化に対応するため、当センターを開設。1対1のお見合い事業は成功率が高く、また、東京で暮らす愛媛県人を対象としたお見合いは、同郷という安心感から成功しています。高齢者の婚活については、地域の活性化に寄与できます。

今回の視察は、本市が直面している大きな課題に対応するため、行いました。今後も更に検証しながら、市施策に反映できるように進めていきたいと思えます。

期間 7月6日～8日

視察内容

- ①「高齢者の生きがづくり」
- ②「新庁舎建設」
- ③「婚活事業」



【経済建設委員会】

・福岡県JA糸島産直市場

「伊都菜彩」

日本一の売上高を誇るこの直売所には、平日で3千人、休日だと5千人が訪れます。商品近くには、生産者名や特徴、料理方法を記した手書きのプレートが貼ってあり、買い物客は争うように商品をカゴに入れます。商品価格が安いわけではないが、周辺の畑で収穫したばかりという安心感や、野菜ソムリエの資格を持つ職員が発信するレシピや保存方法などの情報が付加価値となっているようです。

本市も消費者の心を掴む農産物のPRが更に必要と再認識しました。



・福岡市役所

狭あい道路は、地震や災害等の緊急時に、避難や救助が困難で救急車や消防車が入りづらいなど問題が多数あります。福岡市では、土地所有者に寄付協力をいただきながら行政・地域住民が一丸となり、4メートル未満の市道拡幅整備を実施しています。

本市も狭あい道路の解消に向けた対策が必要と考えています。



期間 7月23日～24日

視察内容

- ①「伊都菜彩の概要」
- ②「狭あい道路」

狭あい道路・・・

主に幅員4m未満の「建築基準法上の道路」とみなされる道をさします。

【教育厚生委員会】

・福岡県郡山市湖南こなん小中学校

湖南地区は、地元が積極的に小中一貫教育にむけた活動を行い、市も地元の熱意を受けて、小中学校を一体的に整備するとともに「小中一貫教育」が実践されました。教職員関係者が、小中一貫校の理念について共通理解を図り、自分のやるべきことをしっかりと実践している姿がありました。

本市も先進地を参考にしながら、小中一貫教育調整会議や推進会議で協議を引き続き行っていきます。



・宮城県みやぎ涌谷町

「医療福祉センター」

涌谷町は、保健・医療・介護・福祉の対策が医療福祉センターを核として同号的に展開されています。町民一人ひとりに対する保健指導や医療などの情報が三元化され、有機的に連動し、その人に合った対策が図られていました。

本市も、健康に関する情報共有と対策が総合的に結びついていくようなシステム構築を検討していく必要があります。

期間 7月31日～8月1日

視察内容

- ①「小中一貫教育」
- ②「医療福祉センターの概要と健康づくり事業」

